

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10574003				
授業名	伝統文化と民俗世界 B	形態	講義	単位	2
担当教員	大場 あや				
開講学期	2024年度 後学期	曜日・時限	水曜2限		
授業目的	伝統文化や民俗事象が、日本人の暮らし・生活にどのように根付き、どのような儀礼・行事が行われてきたのか。民俗文化の伝統的形態と現代の変容について学び、日本人の暮らし・生活との関わりを理解する。				
授業内容	日本に広く根付いている年中行事、人生の節目ごとに行う人生儀礼を通して、日本の伝統的な文化、生活様式、民俗事象について学ぶ。また、それらの現代的な変容とその背景を学ぶことで、行事・儀礼が持つ社会的機能についても考えていく。具体的には、「正月」「お盆」などの年中行事、「クリスマス」「バレンタインデー」など外来の行事、「成人式」「結婚式」「葬送儀礼」といった人生儀礼を取り上げる。授業全体を通して、日本における生や死、カミ（神）に関する観念とその変化を考える。				
到達目標	①日本の伝統文化、民俗事象についての知識・教養を身につける。②伝統文化、民俗事象の日本社会に対する影響の大きさと多様性について理解できる。③伝統文化、民俗事象の現代的な変容とその背景について理解できる。④現在の暮らし・生活に、伝統文化や民俗事象がいかに関わっているか理解できる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的に講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法も活用し、学生に質問や意見を求める機会を設ける。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	テキストはとくに指定しない。毎回「授業資料」を配付し、参考文献や推薦図書を授業内で示す。				
評価方法	試験点数、事後学習提出物をもとに評価する。				
評価基準	試験70点、事後学習提出物30点				
試験・レポート等のフィードバック	第14回に試験を行い、第15回に試験の解説を行う。 毎回、事後学習の成果を提出してもらい、次回の授業冒頭で解説・講評を行う。 なお、第14回の試験をやむを得ない事情で欠席した場合は、個別に対応する。				
注意事項及び履修条件	出席カードの登録とリアクションペーパーの提出をもって「出席」とみなす。 事前学習、事後学習にしっかり取り組むこと。 本科目を履修する条件は、とくになし。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	自身や家族が行っている年中行事や人生儀礼を調べてくる。
授業内容	授業の概要、学習方法、注意点などのオリエンテーションを行う。導入として、「伝統文化と民俗世界」を現代に生きる私たちが学ぶ意義について確認する。
事後学習	現代において「伝統文化と民俗世界」を学ぶ意義について、自分なりに考えをまとめる。
参考文献	

第2回	
事前学習	民俗学とはどのような学問か、自分なりに調べてくる。
授業内容	民俗学の研究対象や方法を概観し、学問としての成り立ちを確認する。また、民俗文化の重要な基盤である「イエ」と「ムラ」の概念について確認する。
事後学習	民俗学の研究関心、「イエ」と「ムラ」概念について復習する。
参考文献	

第3回	
事前学習	旧暦と新暦について自分なりに調べてくる。
授業内容	日本の年中行事について概観する。また、年中行事を実施する時期や季節感に大きく関わる暦、世界観に関わる「ハレ」と「ケ」の概念について確認する。
事後学習	自身や家族が行っている年中行事の意味、起源、現代の変化などについて調べ、理解を深める。
参考文献	

第4回	
事前学習	大正月と小正月について自分なりに調べてくる。
授業内容	大正月、小正月など伝統的な正月行事を取り上げ、現代の正月行事や初詣の歴史について学ぶ。
事後学習	自身や家族、地域社会が行う正月行事について、以前との変化があるかを調べ、理解を深める。
参考文献	

第5回	
事前学習	自身や家族が行っている盆行事や先祖祭祀について調べてくる。
授業内容	伝統的な先祖に対するまつりである盆行事を取り上げ、日本社会は死者をどのようなものとして捉え、どのようにまつってきたかについて考える。
事後学習	授業を踏まえ、事前学修の内容をさらに調べて理解を深める。
参考文献	

第6回	
事前学習	自分の地域の祭りや、これまでに参加したことのある祭りについて、名称や開催時期をまとめてくる。
授業内容	地域や寺社の祭礼についていくつかの事例を確認し、祭礼が地域の人々や祭礼を支える組織にとってどのような役割を持つのかを考える。
事後学習	事前学修で調べた祭りの意味、起源、現代の変化などについて調べ、理解を深める。

参考文献	
第7回	
事前学習	自身や家族が行っている外来行事についてまとめてくる。
授業内容	ハロウィーン、バレンタインデーなど外来の行事が、日本にどのように定着していったのか、その経緯と社会的な背景を確認する。
事後学習	外来行事が日本に定着している理由について自分なりに考えをまとめる。
参考文献	
第8回	
事前学習	サンタクロースに関するイメージをまとめてくる。
授業内容	クリスマスとサンタクロースが日本にどのように定着していったのか、その経緯と社会的な背景を確認する。
事後学習	第7回・8回の授業を踏まえ、多くの外来行事が日本に定着している理由を自分なりに考える。
参考文献	
第9回	
事前学習	満年齢と数え年について自分なりに調べてくる。
授業内容	日本の人生儀礼について概観する。第9回では成人儀礼を取り上げ、儀礼の構造や社会的機能について考える。また、数え年や年取りなど年齢に関する習俗についても確認する。
事後学習	成人儀礼のもつ意味や多様性について、自分なりに考えをまとめる。
参考文献	
第10回	
事前学習	これまでに参列したことのある葬儀や、葬儀と聞いて思い浮かぶ儀礼のスタイルをまとめてくる。
授業内容	伝統的な葬送儀礼について、儀礼の構造や社会的機能を確認し、葬儀および死に対する考え方の変化を日本社会の変動との関わりで考える。
事後学習	自身の地域における伝統的な葬送儀礼のあり方について調べ、理解を深める。
参考文献	
第11回	
事前学習	自身の家のお墓や、これまでに参りしたり、見たことのあるお墓のスタイルをまとめてくる。
授業内容	第10回を踏まえ、伝統的な墓の形態とその変化を確認する。とくに家族形態の変動との関連において、墓をめぐる現代的な動向を考える。
事後学習	家族形態の変動と墓について、自分なりに考えをまとめる。
参考文献	
第12回	
事前学習	これまでに参列したことのある結婚式や、結婚式と聞いて思い浮かぶ儀礼のスタイルをまとめてくる。
授業内容	結婚儀礼を取り上げ、伝統的な形態とその変化、社会的機能について学ぶ。
事後学習	結婚儀礼の時代的变化について、自分なりに考えをまとめる。
参考文献	
第13回	
事前学習	これまでに事前・事後学習において調べてきた儀礼や行事の変化と、日本社会、家族変動との関わりを自分なりに考えてくる。
授業内容	全体のまとめとして、伝統的な年中行事や人生儀礼の変化、および現代的なあり方について、日本の社会構造、家族形態、働き方の変容と関連させながら考える。
事後学習	現代における年中行事や人生儀礼の意味について、自分なりに考えをまとめる。
参考文献	
第14回	
事前学習	試験へ向けて準備を行う。
授業内容	試験を60分間で実施する。残りの時間で振り返りを行う。
事後学習	試験の振り返りをする。
参考文献	
第15回	
事前学習	試験の振り返りをし、本科目で得た学びを自分なりにまとめる。
授業内容	試験の解説を行うとともに、本科目全体の振り返りを行う。
事後学習	講義内容を再確認し、理解を深める。
参考文献	
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。 <DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。 <DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。 <DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。 <DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。